

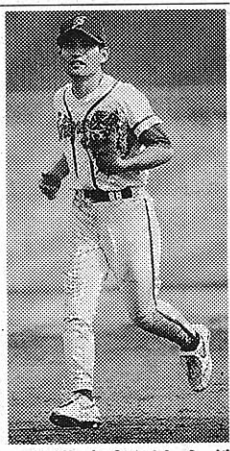
静岡硬式野球部 逆転4強

東海地区クラブ野球
22日 磐田

1、2回戦2試合を行い、静岡硬式野球部が終盤の逆転でオール三重クラブを破り準決勝進出を決めた。

望月決勝打

やられたらやり返す。七回に一度は逆転された静岡硬式野球部がその直後から猛反撃。1点差に詰め寄った八回。相手投手の一塁送球で同点に追いつき、なおも無死二、三塁。期待にこたえたのが二番・望月章裕(29)だ。「エラーをしてはいたし何

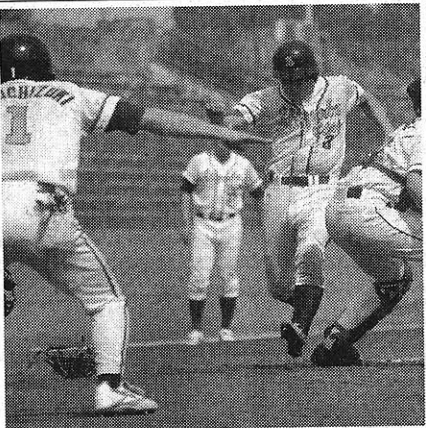


笑顔をみせる望月章裕投手。逆転の決勝打を放つ。

とか選したかった」真つすがに押し気味の打球は左前にポトリと落ちるラッキーな決勝タイムリリーだ。実はこの日、平日とあって選手が13人しか集まらず一右肩が(故障で)駄目で普段はDHが代打」の望月が二塁を守った。七回に自らの失策を機に打者一巡の猛攻を浴び、試合をひっくり返されてきた。それだけに勝ててよかった」と望月は安どの表情を見せた。

今季で8年目のシーズンを迎えた望月にとって母校・聖隷学園の県大会出場は励みになった。13年前に一度県大会に出場しているが、この時、一番・二塁手としてプレーしていた。ウチが優勝した日に母校も県で初勝利を挙げてくれたら「そ願いつつ」24日に2年ぶり2度目の頂点を狙う。

オール三重クラブ	0100014000	4000	8
静岡硬式野球部	00111023X	23X	8
オール三重クラブ	0100014000	4000	8
静岡硬式野球部	00111023X	23X	8



オール三重クラブ対静岡硬式野球部。7回裏静岡硬式野球部無死二、三塁、秋山の適時打で生還する小長谷。

連続逆転勝ち
静岡硬式野球部が
⑤：静岡硬式野球部が

2戦連続の逆転勝ちで、4強進出を決めた。この日は1回戦で快勝し、続いて行われた準々決勝ではオール三重クラブ(三重)と対戦。1点をリードされた8回、長島猛遊撃手(25)上武大)の投手前へのセーフティーバントなど、3安打で3点を奪い逆転した。「2試合とも勝ててよかった」と杉山克巳監督(33)・J.R東海の夜勤明けから駆け付け3安打と活躍した秋山卓史三塁手(27)静岡市商)は「全日本選手権で優勝するのが目標。そのためにはこの大会でも勝ちたい」と笑顔で話した。

東海クラブ野球選手権
22日 磐田球場

▽1回戦
オール三重クラブ
0410001110
30005402X
148

静岡硬式野球部
【一】栗田 望月浩【静】
金田 松浦 田造
▽準々決勝
オール三重クラブ(三重)
0100014000
010001023X
86

静岡硬式野球部
【オ】中島 安藤 鈴木
【静】松浦 前沢 高田 田造

ヤマハ発動機が
逆転勝ちで優勝
東海クラブ選手権野球
第4回東海地区連盟ク
ラブ選手権野球大会(日本野
球連盟東海地区連盟、毎日
新聞社主催)最終日の25日
は、磐田市宮城山球場で準
決勝、決勝を行った。ヤマ
ハ発動機と明野レジェンズ
(三重)の対戦となった決
勝は、ヤマ発が後半の集中
打で明野に逆転勝ちし、初
優勝を飾った。

ヤマハ発動機の高森剛捕手が最高殊勲選手賞に選ばれ、明野の森本勝年内野手が敢闘賞と打撃賞(15打数11安打、7割3分3厘)を獲得した。

▽決勝
明野レジェンズ
32000012008
10020073X13
ヤマハ発動機野球
(明)高田 伊藤(ヤ)
戸塚、丸尾、孫六、鈴木佳
一高森 藤田(ヤ)
ヤマ発が七回に打者11人攻撃で一挙7点を挙げ、逆転勝ちした。中盤まで劣勢だったヤマ発は5点リードされた七回、高森の3点本塁打や藤田のソロ本塁打など、5長短打を集め逆転。八回にも2点を加えた。明野は七回まで8点を奪い優位に試合を進めたが、終盤に連戦の疲れが出て、守り切れず、無念の涙をのんだ。

岩井政之・明野監督代行 昨日から激戦が続き、最後はグラウンドに立っているのがやっとだった。昨年よりの良い成績が残せた。みんなよくやった。

◇第4回東海地区連盟ク
ラブ選手権野球第3日(22
日 磐田市宮城山球場)

全 三 重 克
0100014000
00111023X
8

静岡硬式野球部
静岡硬式野球部
(全)中島 安藤 鈴木
(静)松浦、前沢 高田、田造
(1回戦の三島クは棄権)

金田、松浦 田造
▽2回戦
全 三 重 克
0100014000
00111023X
8

静岡硬式野球部
静岡硬式野球部
(全)中島 安藤 鈴木
(静)松浦、前沢 高田、田造
(1回戦の三島クは棄権)

佐藤晴・ヤマハ監督 地元開催だし、是非とも優勝したかった。試合日程が変わって調整がうまくできなかつたが、みんなよく戦ったから優勝できた。

▽準決勝
明野レジェンズ
201020002103
0100200032008
静岡硬式野球部
(延長十一回)
(明)岩井 伊藤(静)
実石、松浦、前沢 田造
(奥伊勢クは準決勝棄権)